

しらさぎ

第214号

令和5年3月15日 発行

一般社団法人 鶴岡地区医師会

鶴岡市立湯田川温泉
リハビリテーション病院
広報委員会

山形県鶴岡市湯田川字中田35-10

TEL 0235-38-5151

FAX 0235-38-5152

<http://tsuruoka-med.jp/yutagawa/>

E-mail yutagawa@orion.ocn.ne.jp

鶴岡市立湯田川温泉 リハビリテーション病院の 基本理念

私たちは、患者・利用者の皆様の尊厳と自己決定権を尊重し、
心の通った医療、介護とリハビリテーションを提供します。



デイケア利用者の石田知江さんと佐藤共美さんの作品です



当院は、(公財)日本医療機能評価機構の定める認定基準を取得しています。

令和4年度 入院患者満足度調査結果報告

当院では、入院患者の皆さんの医療サービスに対する満足度を把握し、よりよいサービス提供を目的として、毎年「入院患者満足度調査」を実施しています。今年度実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

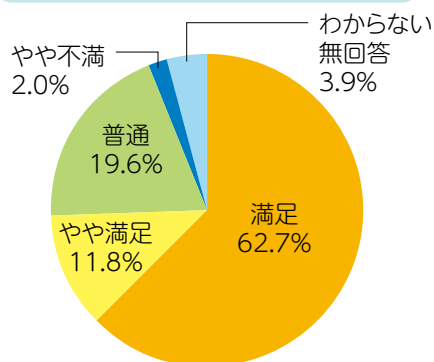
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、患者さんへの面会制限などを実施させていただいております。患者さん・ご家族の皆さんには大変ご不便をおかけしておりますが、感染予防対策の一環の取り組みとして、ご理解とご協力をお願いいたします。

【実施概要 および 評価方法】

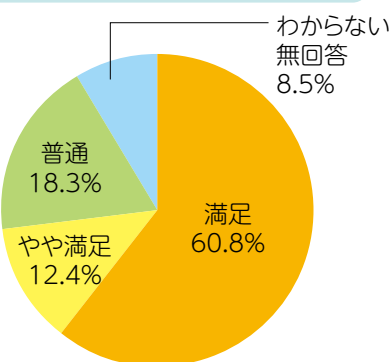
- 調査対象：調査時点で当院入院期間が3週間以上の患者さん全員(72名)
- 調査方法：アンケート用紙を配付し、返信用封筒を添付。また玄関に回収箱を設置し回収。無記名回答方式で実施。
- 回 収 数：51名(回収率:70.8%)
- 回答割合：ご本人 13名(25%) ご家族 35名(69%) 未記入 3名(6%)
- 評価方法：「満足、やや満足、普通、やや不満、不満、わからない・無回答」の各項目の合計を回収数で割った数値で評価しています。

★病院全体についての評価、また職種ごとに患者さんに対する態度や言葉遣い、相談・質問のしやすさ、説明の仕方などについてお聞きしました。

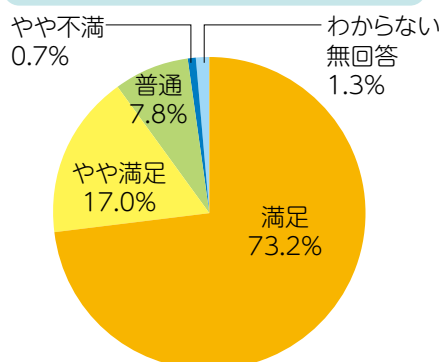
★病院全体について



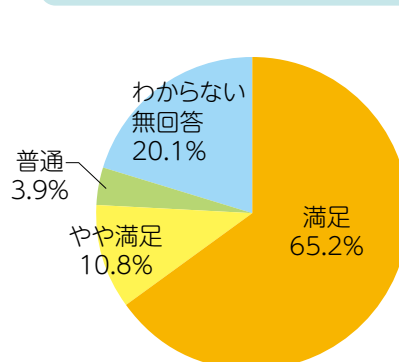
★医師について



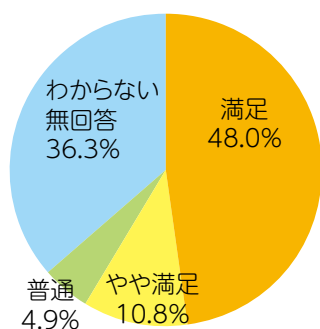
★看護、介護職員について



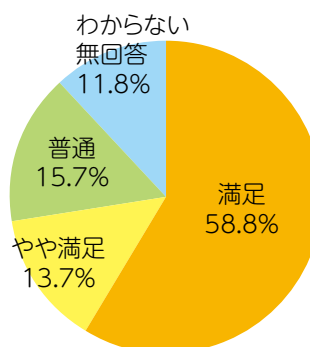
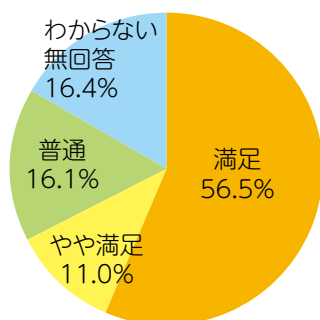
★リハビリスタッフについて



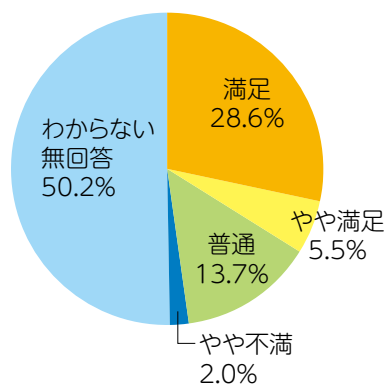
★他の専門職について



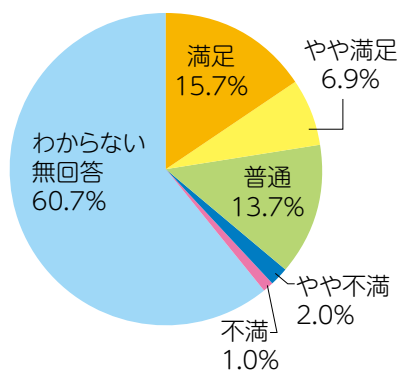
★事務職員について

★入院時の電話連絡、
入院中の相談・退院支援
について

★生活環境、駐車場について



★売店について



回答総数 459 件のうち、各項目で「満足」「やや満足」の評価をいただきましたが、「やや不満」9 件、「不満」1 件の回答もございました。

いただいたご意見・要望については全職員で共有し、対応策の検討および改善に取り組み、皆様により満足いただける病院となるよう、さらなる努力を重ねてまいります。

また、たくさんのお褒めのお言葉や評価をいただき、スタッフ一同の励みとなりました。

アンケート調査にご協力いただきました患者さん・ご家族の皆さん、ありがとうございました。



院内研究発表会

フレイル[※]の患者へ入院時からの 早期介入を行うことで栄養状態の改善を目指す

第 1 病棟 佐藤 祥穂 土肥 裕子

私たちは入院時にフレイルになるリスクの高い患者を抽出し、入院時から退院後の生活を見据えて介入することで低栄養状態の改善が図れるのではないかと考え研究に取り組みました。対象患者に毎日フレイル予防体操と嚥下体操を行い、食事形態と血液検査データの変動を観察しました。また職員に対してフレイルの勉強会を実施しました。研究前は、職員のフレイルに対する知識・関心にバラつきがありましたが、今回実践したことで、フレイルに対して職員の意識が高まったことや患者のフレイル予防に関わることをできたと考えられます。しかし、勉強会を 1 度行っただけでは知識の定着を図れないため、今後も勉強会やフレイル予防体操などを繰り返し継続して実施していく必要があると考えます。これからもフレイルになるリスクの高い患者に対してより良い支援が行えるように努力していきたいです。



※フレイル…「健常」と「要介護状態」の中間の状態。

高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態。

地域包括ケア病床の在宅復帰率向上への取り組み ～退院支援スクリーニングシート及び 地域包括ケア病床についてのパンフレットを用いて～

第 2 病棟 疋田 由美 三浦 典子 斎藤 涼子

地域包括ケア病床の入院患者の状況を調査した「退院支援スクリーニングシート」及び「地域包括ケア病床についてのパンフレット」を用いて、患者情報を解析し、入院時から早期に多職種で退院支援を行うことにより在宅復帰率向上につなげることができないのではないかと考え研究を行いました。研究期間内で在宅復帰率向上には至りませんでした。入院時から退院を見据え多職種で連携し、対応していくことが在宅復帰率向上へつながると考えます。地域包括ケア病床についてのパンフレットは、患者、家族が地域包括ケア病床を理解し、入院期間を確認できることで、早期からの退院支援へつながられるよう、今後も活用していきたいと思います。



コロナ禍における面会制限の現状と対策

第3病棟 高橋 彩香 佐藤 美紀

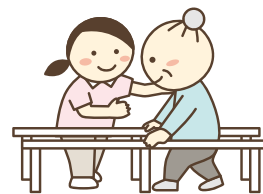
新型コロナウイルスの流行により、当院で家族との面会が原則として実施できなくなってから2年半以上が経過しています。当院ではオンライン面会というシステムがありますが、第3病棟でのオンライン面会の利用者数は多くありません。家族が患者と会えない、情報が提供されないことにより不安が高まっていないかと疑問を持ち、入院中の患者の動画を撮影し家族が視聴する取り組みを試験的に運用しました。その結果家族の満足度向上につながりました。回復期では ADL 状態の変化、急性期からの長期の入院による認知症の進行や、脳卒中の発症から高次脳機能障害や血管性認知症の発症など入院前のその人らしさが失われ家族が大きな不安を抱えるケースがあります。面会制限下でも、患者の状態を医療者側からタイムリーに発信し、家族と共有することで家族と患者の関係性の再構築を助け、安心して退院できるよう支援が必要です。質の高い退院支援に繋げられるよう取り組みを継続していきたいと考えます。



大腿骨近位部骨折患者における受傷前 BI が 45 点以上、かつ認知症自立度 I 以下の症例の歩行自立に関与する要因分析

リハビリテーション課 理学療法士 佐藤 恵太 高野 一輝 佐藤 夏美
作業療法士 佐久間 岳
脳神経外科 武田 憲夫

当院では令和2年度より大腿骨近位部骨折院内パスに骨折前の Barthel Index（できる日常生活動作自立度評価以下 BI）と認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（以下、認知症自立度）を組み合わせたマトリックス分類を導入し予後予測の推測を行っています。今回、令和2年4月から令和4年3月の間に入院した、受傷前 BI が 45 点以上（日常生活が一定以上保たれている）で、かつ認知症がないうか軽度の患者を対象に、退院時における歩行自立に関与する要因を分析しました。結果として日常生活動作能力や退院時に認知機能評価の点数が高い人にて歩行が自立しやすい傾向にありました。歩行自立は患者の第1目標となることが多い為、より効率的な歩行自立獲得に向けた関わりが確立できるよう今後も分析を進めていきたいと思ひます。



回復期病棟の脳卒中患者における、入院から1ヶ月後の認知機能の改善度と退院時 ADL との関係

リハビリテーション課 作業療法士 佐藤 聖良 御橋 壮人

当院に入院された脳卒中患者を対象に、入院1ヶ月後の認知機能と Functional Independence Measure (FIM) 運動項目の改善度との関係を調査しました。FIM は日常生活動作 (ADL) を評価するもので、ADL が自立しているほど点数は高くなります。結果として、入院1ヶ月後に認知機能が改善した方ほど、退院時の FIM 運動項目が向上しやすい傾向にあることが分かりました。今回の研究により、入院1ヶ月後の認知機能が FIM 運動項目に与える影響を知ることができ、入院後比較的早期からより正確な予後予測を行うことができるようになると思ひます。また、脳卒中による認知機能障害などに対し、積極的な症状改善を図ることの重要性が示唆され、今後リハビリテーションを進めていく上での目標設定やプログラム立案を計画する際の参考としてきたいと思ひます。



ニューフェイス

氏名 部署 職種

- ①性格 ②趣味 ③好きな食べ物
④休日の過ごし方 ⑤抱負

はたけやま けい こ
畑山 恵子

・栄養科 ・管理栄養士

- ①真面目
②パステル画
③アイスクリーム
④ゆったり マイペース
⑤一步一步頑張ってゆきたいと思います。



せきの
関野 あゆみ

・リハビリテーション課 ・作業療法士

- ①好奇心旺盛
②旅行
③桃
④温泉に入る
⑤患者様の立場になって考えながら業務を行って
いきたいです。



すず き み ほ
鈴木 美穂

・第2病棟 ・看護師

- ①明るい 日々の生活に笑いをみ
つけると幸せでいられます
②観葉植物、旅行
③麺類
④家事で終わってしまう
⑤ご迷惑をおかけすること多々あると思いますが
頑張りますのでよろしくお願いします。



行事食のご紹介



【3月1日 開院記念献立】

お赤飯、天ぷら、茶碗蒸し、
うどん甘酢、祝饅頭



【3月3日 ひな祭り献立】

すまし汁、ちらし寿司、かぶ含め煮、
いちご、和菓子



**あ と
が き**

この度「あとがき」を書くにあたり、数年前の「しらさぎ」を見させていただきました。
趣向を凝らしたイベントが催され、沢山の暖かい楽しそうな笑顔がありました。
どこまで規制緩和ができるかわかりませんが、春がとても待ち遠しいですね。
来年度も広報「しらさぎ」をどうぞよろしくお願いいたします。(M.Y)